

## 金城山（観音山コース）山行報告

【山城】新潟県南魚沼市・金城山（1369m）

【日程】2015年10月17日（土）

【メンバー】CL菊池、SL加藤、小俣、澤田（淳）

【行程】千葉（穴川 IC）3:45－塩沢石打 IC－こぶし遊歩道 金城山観音山コース登り口  
7:45－11:45 金城山山頂-12:10 避難小屋-山頂-15:40 登山口



・50周年記念山行・乗鞍－平湯－中の湯の中止が木曜日の朝に決まった。天気予想では17日土曜日は曇りベースであるが18日日曜日は晴れベース。錦秋の旬を2日間とも千葉で過ごすのはもったいないし、せっかく続けている山行によるトレーニングが中断され、体が訛ってしまう。そこで乗鞍メンバーの女性群に声をかけた。小俣さん希望の鳥甲山を主目的に曇りベースが予想される1日目をどこにするか思案した。10年ほど前のちば山集中山行で1日目に八海山、2日目は金城山であったが、私は2日目参加しなかったため、この機会に魚沼の名山に登ってみようかと決定した。加藤さん・小俣さんは経験済の山であるが、観光課に問い合わせると、水害などで昔からあるいくつかのコースは通行不能で観音山コースのみ（全員未経験）OKとのこと、ネット

<http://buna-pow.com/2013/kinjyousan2013.htm> で調べて決行となった。直前まで土曜日の天気が微妙で、関東は曇り・雨模様であったが、金曜日夕方の天気予想では新潟県はま

あまあの晴れベースに好転していた。

・標高差 1100m、歩程約 7 時間のややハードなロングルート、前夜発が嫌いな CL であるため当日未明出発とし、小俣さん・加藤さんには前夜事務所泊とし、出発時の時間短縮に努めた。関越道は雨模様、花園を過ぎるところから天気予想通り雨は止み、関越トンネルを抜けると青空が広がりテンションはますますアップして登山口に順調に到着できた。

・わかりやすい登山口（こぶし遊歩道）に入ると間もなく石像が設置されている。標高差約 100m ごとに 1 合目、2 合目・・・と標識が完備され、遊歩道は 1 合目の多くの石像



ある広場までであった。尾根を進むこのコースは間もなくブナの美林が現れたが、概ね若木である。眼下に魚沼平野が広がり、錦秋真っ盛りの山々の景色を楽しみながら進むと、



水害で大きくえぐられた崩落地帯の脇に達するが、登山道にも少し影響が出ており、一部登山道が変更されていた。ゆっくりペースでの登高、1 時間強に 1 回、5~10 分の短い休憩で、休憩時間を含めて概ねコースタイム（登山地図）で順調に山頂に達した。

・頂上付近は迫力のある岩壁の上である。最近岩山はできるだけ避けていたためか、齢が進むにしたがって高所恐怖症気味になってい

る。足が地につかないような落ち着かない状態で 360 度の大パノラマ（カッコよい米山までくっきり見えた）、錦織なす素晴らしい魚沼山々の素晴らしいショットを撮りまくった。岩壁の間を縫っていくやや怖く細い登山道を進み、林間を少し進むと避難小屋があり、今



日の到達点として 20 分ほどの休憩を採った。

・石像が数体設置されている大岩で記念撮影し、鎖場、急斜面を大腿四頭筋への負担をできるだけ少なくするようゆっくりペースで下った。



標高差 1100m は老体にとっては、かなりのハードルートである。標高を下げると、粘土質の急斜面が長く続く部分には 3~4 本のロープが張っており、これを頼りに慎重に下った。その後はやや気楽に下れるが乳酸がかなり溜ってきており、1 合目の石像群までは、まだかまだかと気持ちが焦り気味のフィナーレとなった。

・他のメンバーの希望で、今日中に出来るだけ鳥甲山の秋山郷に近づいておきたいと考えたが、温泉・夕食などゆっくりできないため、当初の計画通り、坂戸山近くの銭淵公園でテント泊とし、ハツカ石温泉石打ユングパルナス（道の駅で 100 円の割引券を頂き 800 円で入浴・各種の温泉を楽しめて満足）とへぎそばで有名な中村屋を堪能できた。

・地図を添付します。避難小屋は実際には、この地図では金城山山頂の位置と考えられません。

